広報
うまじ
第286号
平成27年12月1日発行
the most beautiful villages in japan
馬路村は
「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています。

▶馬路小学校5・6年生

馬路地区PTA
『馬路式』お弁当の日！

小学校「5つのルールを取り入れたお弁当を作ろう！」
中学校「極めよう！！卵料理　～卵料理を一品必ず入れ、バランスの良いお弁当に～」

目次

第10回ゆずはじまる祭 …… 2
防災特集～東日本大震災から学ぶ馬路村の防災～ … 3
おらが村の学校便り㊳ …… 4・5
平成26年度決算について …… 6
私たち、魚梁瀬ふるさと応援隊⑦ …… 7
議会だより NO.142 …… 8・9
馬路ョン …… 10
湘南学園来村・高知県消防操法大会出場 … 11
Dr.中川の木の香る診察室から …… 12
生活体験通学合宿･ふるさとへの便り㊾ … 13
安田川漫歩（16）…… 14・15
お知らせ …… 16
行事予定表 …… 17
村内あちらこちら･村のできごと …… 18

第10回 ゆずはじまる祭

ゆずの季節に笑顔実る

来てくれた!!

雨の予報にドキドキしながら迎えた11月1日、雨雲も気を利かしてくれたのか、最後まで雨が降ることなく無事にゆずはじまる祭を開催できました。

さて、気になるお客さんの入りは・・開催の1時間前から待ってくれている人や、毎年楽しみに来てくれている人、はるばる北海道から来てくれた人、会場はあっという間にお客さんでいっぱいになり、4,000人もの方が来てくれました。

人気続出

早々に行列を作ったのは、ゆずしぼりコーナー。「これを目当てに来た。」というお客さんもいるほど。

女性部のゆずが効いたお寿司やつきたてのお餅、鮎・アメゴの塩焼きも大人気であっという間に売り切れました。

小学生の皆も手伝ってくれました

元気をありがとう

ゆずの森ステージでは、こどもも大人も白熱のごっくん早飲み競争や、フラダンス、ベリーダンスにマジックショー、

杉ぼっくりの歌のショー、豆電球さんのライブなど、にぎやかに盛り上がりました。

お客さんからは、「楽しかった」「おいしかった」「元気がでた」とうれしい声をかけてもらい、私たちも元気と励ましをもらいました。

10回目のゆずはじまる祭を開催することができたのは、たくさんのご理解とご協力、応援してくださった皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。これからも、お客さんも馬路村の皆も笑顔になれる楽しいお祭りとしてありますように。

にこにこ

防災特集

～東日本大震災から学ぶ 馬路村の防災～

10月9日に、「東日本大震災から学ぶ馬路村の防災」と題して、講演会を就業改善センターにて開催しました。

講師には、宮城県亘理郡山元町役場職員で管理栄養士の佐藤睦美氏を招き、平成23年におきた東日本大震災での経験を当時の写真を交えながら話をしていただきました。

▲震災時の山元町立中浜小学校
（津波により車や家が流された）

○震災から学んだこと

震災発生当時ライフラインが止まったことで炊き出しが必要となったことから、管理栄養士である自身の活動に触れ、食材や普段当たり前にある調理器具の確保の難しさや水の重要性について話されました。

特に、断水で水が貴重となり、炊き出しに使用した食器や器具を簡単に洗うことができなかったこと。また、炊き出しの2時間前から行列ができるほど人が多かったため、配膳する食器の数が足りず、使い終わった食器等を水でさっとゆすぐだけの日が何日か続いた話の際には、講演会を聞きに来られていた方からも、驚きの表情が見られました。

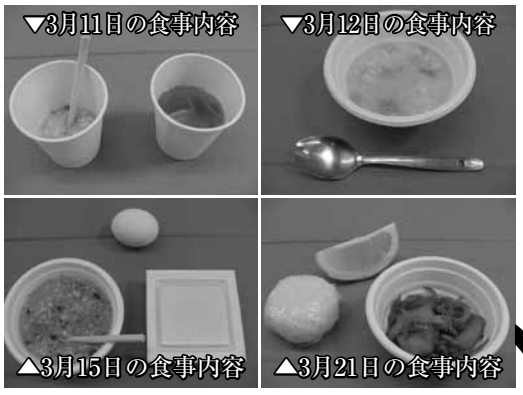
防災グッズは事前に準備していても、避難生活が長期化したことにより炊き出しや配膳用の食器などが不足したため、衛生面での改善を図る意味でもディスポ（使い捨て）食器の備蓄が必要であったと悔やまれていました。

さらに食事内容についても、高齢者や乳幼児への配慮をしたメニューでなかったことを惜しみつつ、事前に炊き出しの食事を食べられない人がどのくらいいるのか把握できるよう工夫が必要であったことも課題として挙げられていました。

現在、震災の経験から得たことについて山元町役場でも備えをされているそうですが、自分自身の健康を守るためにも、栄養補助食等やディスポ食器を活用して食事ができるよう、防災グッズの中に準備をしておきましょう。

▲支援が必要な方への食事内容について質問

（左の写真）
炊き出しメニューを食器以外再現したもの
・温かいこととお腹を満たすことを第一に考え、雑炊が多かった。
・お箸も不足していたため、一本の割り箸を2つに折り使用していた。
・日がたつにつれて、支援物資が届き自衛隊が炊き出しを開始したことで、栄養面も考えることができ食事内容の改善が図られた。



（左のレシピについて）
炊き出しにおいて、一番活用できたのがジャガイモとタマネギだったそうです。
他の食材は消費期限が短いので管理をするのも難しく、食材も豊富でなかったため調理ができなかったとのことでした。
各家庭で常備野菜として置いておけば、震災が起きた際にも食材を上手に活用できるので、各家庭で日頃から常備しておきましょう。

おらが村の学校便り㊳

恒例行事になっています、馬路小・中学校と魚梁瀬小・中学校の「合同学習会」が、10月21日に馬路小・中学校を会場にして行われました。両校は、社会見学や講演会などでいっしょに勉強することもありますが、同じ教室で机を並べて勉強するのは、年に一度の合同学習会の時だけです。写真や児童･生徒の作文で、その時の様子をお伝えします。

合同学習会

小学校では…

1時間目は、全校でアイスブレイキング。伝言ゲームやジャンケン列車で仲良くなりました。

ジャンケンポン!

ジェスチャーで伝える伝言ゲーム

2時間目の1・2年生は国語。「うんちぶろ」という児童詩を学んだ後、お気に入りの詩を紹介しました。

「うんちぶろ」ということばが出てきて、はきそうになりました。けれども、にぎやかになってもり上がりました。

ぼくのお気に入りの詩は…

3時間目の3・4年生は体育。気持ちの良い秋空の下、運動場を駆けずり回ったり、体育館でゲームをしたりと、大人数で運動することの楽しさを満喫しました。

青空の下は気持ちいい…

「ジェンカ」のリズムに合わせて…

4時間目の5・6年生は総合的な学習の時間。『私たちにできること』ということをテーマに勉強しました。

気仙沼の人たちに教えちゃろう…

馬路と同じようにユズで栄えようとする被災地のことを初めて知りました。

家に帰ってから考えてみると、気仙沼の人たちにとって水産業ができなくなるということは、私たちのユズ畑が消えることと同じことかなと思いました。それぐらい大打撃だったのに、ユズでもう一度復活しようと考えたのは、すごく前向きな人たちだなと思いました。

中学校では…

1時間目は、全校でアイスブレイキング。人間知恵の輪やジャンケン陣取りで仲良くなりました。

人間知恵の輪…うまくほどけるかな?

2・3時間目の1年生は、書道でした。

うまく書けたかな?!

2・3時間目の2・3年生は「いのちの学習」でした。

講師は、JA高知病院の上田助産師。妊娠のしくみや二次性徴など、思春期の体と心の変化だけでなく、避妊の大切さなど、「性」についても学びました。

一番心に残っていることは、妊婦体験をしたことです。おなかがすごく重くて、座るのもしゃがむのも大変でした。お母さんはこんな大変な思いをして自分を産んでくれたんだと分かりました。

男子生徒も妊婦体験…母親への思いは?

実際に赤ちゃんを抱いてみると、見た目は小さいのに案外重くて、これが命の重みなのかなと思いました。

馬路・魚梁瀬

人形だけど、ついほほ笑んでしまいました

4時間目は全校での社会科。今の馬路村を維持し、より発展させるためには何が必要か…。馬路村の強みと弱みを考え、そこから発展させるために必要なことや自分たちにできることを考えました。

村が発展するために、私たちにできることは…

午後は、木管アンサンブル「コスモス」の演奏会でした。

すばらしい音色の生演奏を聴かせてもらうだけでなく、楽器の特徴を教えてもらったり、いっしょに児童・生徒が歌ったりと、すごく楽しい時間を過ごしました。

ファゴットの説明

ぼくはファゴットというえんとつ型をしたのがおもしろい形やなぁと思いました。ホルンは3mか4mぐらい長さがあると聞いてびっくりしました。くちびるを振動させられるのもすごいと思いました。

きれいな音色を聞けて良かったです。あまりにもきれいな音色だったので、ねむたくなりました。

となりのトトロの「さんぽ」や「花は咲く」をいっしょに歌いました。みなさんとてもきれいな人だし、音楽もすてきだったので、聞き入ってしまいました。

小学5・6年生と中学生は「花は咲く」を合唱

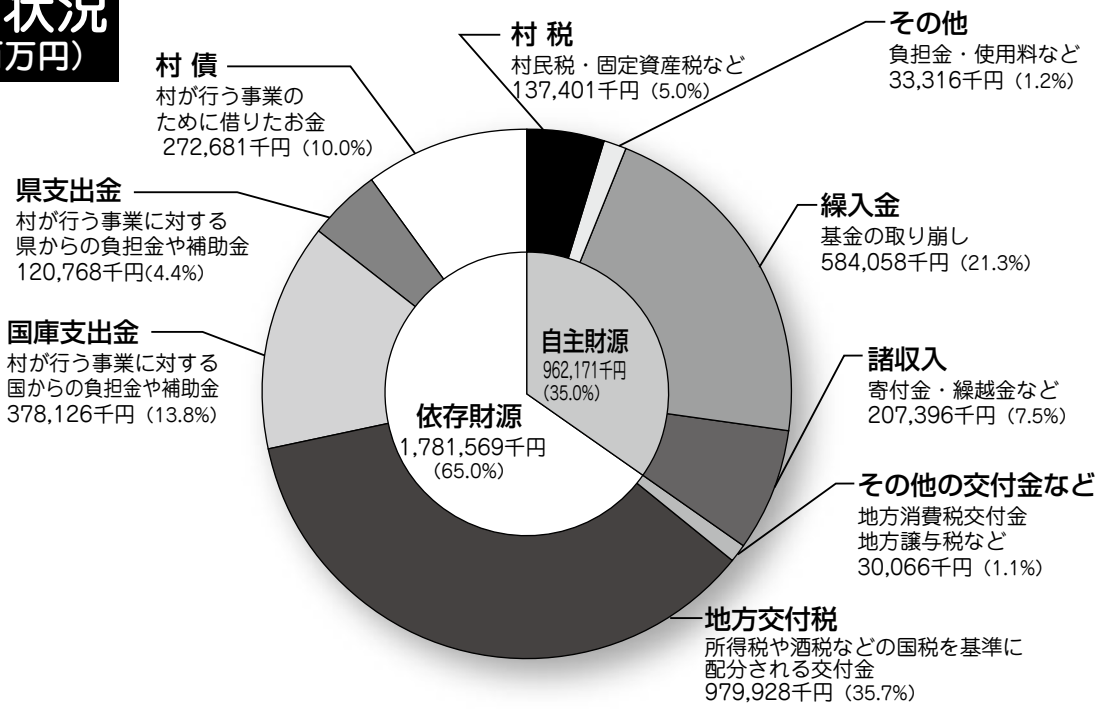
平成26年度村の決算

平成26年度の決算の状況をお知らせします。馬路村一般会計の歳入決算額は、2,743,740千円で、前年度2,328,926千円に比べ414,814千円(17.8%)の増となっています。歳出決算額は、2,399,344千円で、前年度2,168,798千円と比較すると230,546千円(10.6%)の増になっています。

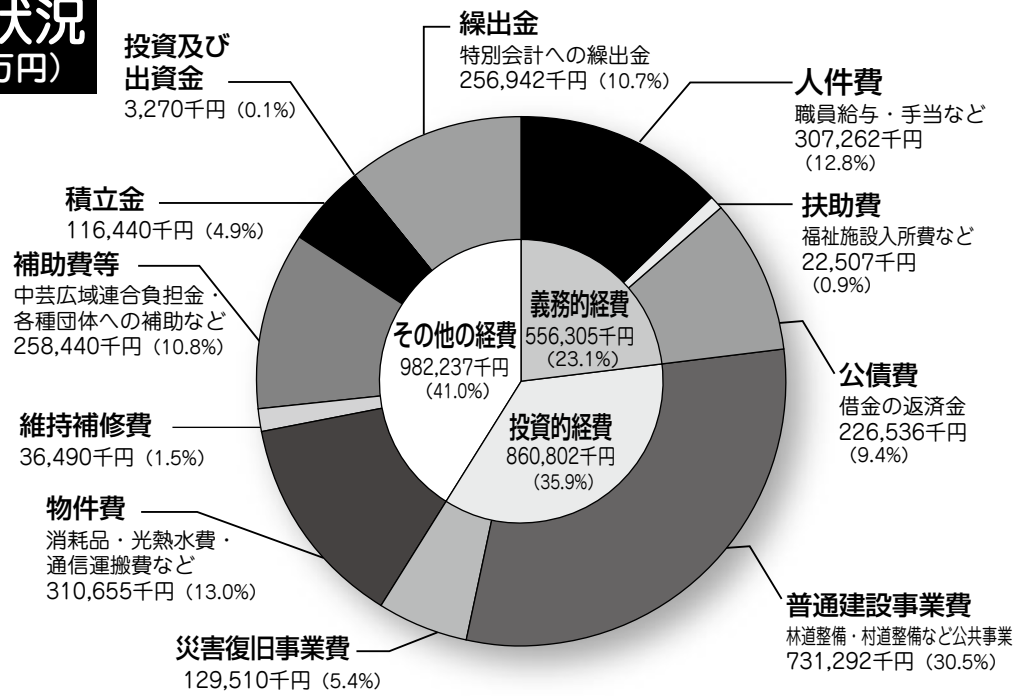
歳入歳出それぞれ増額となった主な理由は、小水力発電事業や診療所建築事業等の村単独大型事業への基金取り崩しによる繰入金の増及び、それによる普通建設事業費の増によるものです。

平成26年度一般会計の歳入歳出決算額

歳入の状況（2,744百万円）



歳出の状況（2,399百万円）



私たち、魚梁瀬ふるさと応援隊⑦

坂口　いづみ

来年も魚梁瀬ふるさと応援隊をよろしくお願いいたします。

魚梁瀬地区村民大運動会

今年も残り少しとなりましたね。私は毎年この時期になると見られるクリスマスのイルミネーションが好きで、それを見ているだけで幸せな気持ちになります。

１０月２５日に魚梁瀬地区村民大運動会が開催されました。私は今年全日本選抜チームの担当をしていましたので、役場・全日本選抜連合チームで参加しました。

今年の全日本選抜チームには高知大学えんむすび隊の皆さんや電源開発の方などが参加してくれました。大学からはたくさんの留学生も参加してくれて運動会を盛り上げていただきました。同じ競技に参加した後にハイタッチをしたりして、「みんなで協力してやっているんだなぁ」と強く思い、なんだかとても温かい気持ちになりました。

このチームを担当して、留学生のほとんどの方が日本語が分からなかったり、さまざまな年齢の参加者に、どのようにしたら運動会を楽しんでもらえるのかなど、いろいろと不安な面がありましたが、一緒に競技に参加する中で、交流することに言葉や年齢は関係ないと思えるようになりました。この運動会で学んだことをこれからの活動に少しでも生かしていきたいと思います。

▲役場･全日本選抜連合チームの応援合戦の様子

香川　知子

11月に魚梁瀬の各戸を訪問し、12月上旬に地域活性化に関する活動方針をまとめます。結果をお待ちください。

PowerPointのすすめ

パソコンソフトの資格のひとつにMOSがあり、私は着任前にOffice2010でWord（スペシャリスト・エキスパート）、Excel（スペシャリスト・エキスパート）、PowerPointおよびAccessの6つを取得し、MOS2010Masterに認定されています。

プレゼンテーション用のソフトであるPower Pointは皆さんにあまりなじみがないかもしれませんが、資格試験では一番やさしいうえ、実はお役に立つソフトです。

文章より図、キーワードを強調する資料を作成するのに向いているため、Wordと似たような機能がありながら、Wordより簡単に図が挿入でき、テキストボックスを自由に配置できます。私は前職（SE）時から企画案やトラブル報告書、会議資料、学会発表資料などで愛用しております。

魚梁瀬地区でも、絵葉書（やなせパスポート）や、安芸太郎次郎物語の電子紙芝居（筆画は除く）、またそれらに関連するポスター、チラシはすべてPowerPointで作成いたしました。

最近のパソコンはWordとExcelに加え、このPowerPointがあらかじめ入っている場合があります。もし、お持ちのパソコンに入っているようでしたら、ぜひ一度お試しください。

▲電子紙芝居イメージ図

連絡先　**Tel: 0887-42-2001　Fax:0887-42-2007**
Facebook: https://www.facebook.com/o.yanase
E-mail: o-yanase@mc.pikara.ne.jp

議会だより

No.142

9月定例会

平成27年9月定例議会は、9月15日から18日までの4日間の会期で開催された。
15日は行政報告等の諸般の報告に続いて馬路村選挙管理委員会委員及び補充員を選挙し、教育委員会委員の選任に同意。財政健全化指標の報告1件と各議案の提案説明が行われた。16日は議案精査のため休会。17日は一般質問を5氏が行った後、議案等の審議、採決を行い、平成26年度各会計決算の認定や平成27年度各会計補正予算など14議案を可決し、会期を1日繰り上げて閉会した。

一般質問

一般質問には、5氏が立ち、次のとおり質問を行った。

（質問趣旨、執行部答弁要旨）

問　山中　隆　議員

防災対策、農業施策について問う。

答　村長

防災対策について、日浦一谷地区でユズを栽培されている農家のかたがたには、昨年8月と今年7月の台風により大規模な地滑りが発生し二年にわたる災害で大変申し訳なく思っている。県道が通行止めになった場合の迂回路は、日頃の調査・点検・整備を徹底し、いざというとき対応できるようにしなければいけない。林道等では北川村、安芸市、安芸森林管理署に対し重要性を訴え整備の要望も行っていく。また、安田町に対しては村の状況を説明しながら協力を得ていきたい。年間契約をし村内業者に委託管理をしてはという提案もあったので検討していく。

今回の防災訓練は、各自主防災組織ごとに内容を決めて行った。

村としては初動体制のマニュアルの作成や自主防災組織にケガの応急処置法習得などが必要ではないかという意見が出た。今後、これらの課題や台風災害時の反省を生かした訓練を行い災害に強い村づくりに向け職員一丸となって取り組んでいく。

農業政策で重要な点は、後継者対策であると考える。平成25年度に実施したアンケートでは、約半数が後継者がなく耕作放棄地が増えているという結果であった。農業施策の課題については、農協、県との協議だけではなく、大学や企業との連携のなかで総合的に取り組んでみたい。

答　産業建設課長

瀬戸ヶ谷の状況は、想定した以上の土砂の滑り面が判明し、安芸土木事務所としては対策について計画の見直しをかけており住民説明会が遅れている。国との協議を進め対策が確定したら説明会を行いたいということである。

問　木下英年　議員

村出身学生に対しての就職案内について問う。

答　村長

馬路村出身の学生に対しての村内事業所への就職活動の情報発信について、村内事業所の採用情報提供を直接本人に行うことは、個人情報保護の観点から難しいと考える。例えば、家族にパンフレットなどで情報を提供することや家族の方が登録申請などを行い情報を発信するということができるのではないか。また、産業振興座談会で提案をし各団体の意見も聞きまとめていく。

引越補助金・留村奨励金等の見直しについて、馬路村若者定住促進対策条例は時限付きの条例で、期限が平成28年3月31日となっている。馬路村総合戦略の一つの施策として整備をしIターン、Uターンへ直接つながる施策を構築していきたいと考え現在、協議・検討を行っており年度内に議会に提案をしていく。

問　杯山民夫　議員

透析患者の通院、地域福祉計画について問う。

答　村長

透析患者の通院の環境は当然命にかかわる問題であり、主要県道である安田東洋線が通行止めとなった折には、病院と連携し臨時の福祉輸送便による通院支援の対応を行っている。

また、孤立の恐れがある場合、県や医療機関と連携を取りヘリコプターによる搬送体制などの連絡調整も行っている。村では、病院側に何らかの助成を行うことで送迎が可能とならないか昨年度より打診を行っており引き続き検討、協議していく。

地域福祉計画の状況について、関係機関とは連携もできており全体的には進んでいると考える。しかし、総合的介護施設の建築の検討については、診療所からデイサービスセンターまでを総合的にとらえ、福祉の拠点としてショートステイ機能などを設け、より効果的な医療と介護サービスの提供に寄与できないかと検討したが諸般の事情によりできなかった。今後も重要な課題として引き続き検討していく。

平成24年第1期として作成した馬路村地域福祉計画は、5年ごとに見直すことになっているので状況に応じ見直し修正を行い、いつまでも馬路村で生活ができる、地域福祉が進んでいくよう努める。

問　岡田元生　議員

まち・ひと・しごと総合戦略、議会及び議会議員に対する村長の考え方について問う。

答　村長

「まち・ひと・しごと総合戦略」について、先行型事業の成果検証は事業終了後第三者が行うが、村としても検証し成果が上がるよう指導を行っている。戦略策定を早く行った自治体には交付金が上乗せされる件については、事業の内容がクリアできないため見送った。

策定段階における議会の関わり方について、関係する資料を策定委員会に提出する前に議会に示していく。また、村づくり推進常任委員会でご意見をいただければ策定委員会に提案もしていきたい。総合戦略策定の目標は、全て人口対策に直結するため人口対策にむけた施策を取りまとめていく。村の現状を再度見つめながら新しい産業なども含め策定委員会で検討していただきたい。また、既存の産業においても雇用の確保や雇用を増やしていくためには、規模を大きくするか新規事業に取り組むといったことが必要になってくる。これを目標に策定委員会で議論をしていただいている。

議会議員は、村民の代表であり常に謙虚な気持ちで対応をしている。軽視しているとか挑戦的であると思われないよう努めていきたい。

安保法案が全会一致で可決されたのは馬路村だけであったことを報道機関に聞かれ、議員全員が無所属で会派の議員がいないからそうなったのではないかと答えた。決して議会や議会議員そして村民を軽視して発言したわけではない。

答 産業建設課長

プレミアム商品券は、中芸商工会に委託をしている。

馬路村の商工業の活性化についても考えていかなければいけない。買い物弱者も含めた問題点が挙がればということでアンケートを実施したが、その結果を返すことができていないことは反省し、地方創生の戦略の中でもそういうことも検討しながら示していきたい。

問 皆津由理 議員

高齢者ドライバーに対する支援及び免許自主返納者に向けた取組について問う。

答 村長

馬路駐在所、安芸警察署と連携し、講習会などを行うことにより高齢者に向けた対策支援を行い安全運転に対する啓発を行う。

さまざまな理由により免許証を返納する状況が出てくると思われるが、本人だけではなく家族の生活環境まで大きく影響をしてくるため、返納後における支援はこれからの大きな課題である。

支援対策は、現在のところ特別な制度はないが、高齢者や障害のため移動が困難なかたには、社会福祉協議会に委託し診療所への通院や村行事への参加など送迎車の運行を行っており、日常の生活を支える重要なサービスとして定着をしている。

東部交通バスの更新にあたり、一部を補助することも予定しておりバス便の維持・確保にも努めている。

答 健康福祉課長

免許証を返納された方が公共交通を利用される場合、バス代の支援などを現在検討しており交通弱者の外出を支える仕組みについて研究も行い高齢者が安心して暮らせる地域づくりに努める。

議案と審議結果

9月定例会では、次の議案が審議され、全てが可決された。

●馬路村選挙管理委員及び補充員の選挙

▼選挙管理委員会委員として次の4名が選出された。

住所 馬路
氏名 清岡孝子（63歳）

住所 馬路
氏名 清岡るみ（56歳）

住所 馬路
氏名 乾 湧（68歳）

住所 馬路
氏名 小松寛史（55歳）

▼同補充員には、久保可奈氏、山﨑出氏、伊吹卓哉氏、甫木成子氏の4名が選出された。

なお、選挙管理委員会委員長には、後日開催された選挙管理委員会において清岡孝子氏が就任。

●教育委員会委員の任命について

▼山﨑絵美氏を適任者と認め任命に同意した。

住所 馬路
氏名 山﨑絵美（40歳）

なお、教育委員長には、後日開催された教育委員会において岩城立郎氏が就任。

●条例の制定 1件

●条例の一部改正 1件

●平成26年度馬路村の健全化判断比率及び資金不足比率の報告

▼財政状況を示す各指標は、基準値内で健全と報告。

●平成26年度歳入歳出決算の認定（一般会計及び特別会計5件）

●平成27年度補正予算（一般会計及び特別会計5件）

第6回臨時会（8月19日）

次の議案が審議され、全てが可決された。

●固定資産評価審査委員会委員の選任について

▼山﨑惟男氏を適任者と認め再任に同意した。

住所 魚梁瀬
氏名 山﨑惟男（68歳）

●平成27年度一般会計補正予算（第2号）

第8回臨時会（11月2日）

次の議案が審議され、全てが可決された。

●教育委員会委員の任命について

▼渡辺知恵氏を適任者と認め再任に同意した。

住所 魚梁瀬
氏名 渡辺知恵（55歳）

●専決処分の承認を求めることについて 2件

ウマ　ジ
馬路ヨシ

国際交流員：ジョン・ワード
（アメリカ合衆国・ノースカロライナ州出身）

皆さん、こんにちは!

10月の中旬ごろから、馬路村の気温はかなり下がり寒くなってきました！

11月になると、馬路村ではユズも熟してきれいな黄色に変わり村にとって大事なユズの収穫時期となりました。その収穫されたユズで私の大好物であるゆずぽん酢しょうゆとごっくん馬路村ができているので、ユズの木を大事に育てている皆さんに感謝しています！

収穫といえば、アメリカ合衆国ではサンクスギビング（感謝祭）という収穫に関する祝日があります。感謝祭は昔からの伝統ですが、実は初めての感謝祭はアメリカ独立宣言以前に行われました。

起源説をまとめて言えば、1620年に英国から現在のマサチューセッツ州のプリマス町に、宗教的自由を求めて船で大西洋を渡って移住してきたピルグリム（清教徒）たちが英国から持ってきた種子が土壌に合わず、飢饉による死者を出してしまいました。

そこで、アメリカ大陸の先住民であるインディアンがウナギの釣り方やトウモロコシの栽培方法を教えたことにより危機を脱したので、その感謝を表す目的で翌年にピルグリムたちはインディアンを招待し、収穫を祝う正餐（せいさん）を開きました。

皆さん、良いクリスマスとお正月を!!

現在アメリカでは毎年１１月の第４木曜日に感謝祭が行われています。この日は家族や友達が食卓に集まり、キリスト教徒は食事の前に神様へ感謝のお祈りをします。

感謝祭の伝統的な食事といえば、クルトンやコーンブレッド（トウモロコシの粉を使って焼いたパン）などを詰めたターキー（七面鳥）の丸焼きとマッシュポテトで、これらにクランベリーソースをつけて食べます。

また、サツマイモとマシュマロで作られたキャセロール（耐熱容器に入れてオーブンで焼いた家庭料理）などが挙げられます。

そしてデザートには、パンプキンパイやペカンパイなどが食べられることが多いです。実は一般的なアメリカ人が３６５日の内で一番多い量の食事をとっているのは感謝祭の日です。

感謝祭のディナーは、日本のお正月のおせち料理と似ています。

毎年作る料理は基本的には同じものですが、家庭によって材料も作り方も少しずつ違い、それぞれの家庭の味があります。

私の家はテキサス州出身の祖母が作っていたコーンブレッドを詰めたターキーとノースカロライナ州出身の祖母が作っていたオイスター（牡蠣）を詰めたターキーのレシピを両方使い、そのまま焼いて食べます。

今年は、テレビ電話で家族や親戚と一緒に感謝祭の夕食を取りました。

みんなと話ができることはうれしかったですが、残念ながら、目の前にあるおいしそうな料理を我慢しないといけませんでした。

馬路村へ修学旅行
～湘南学園高等学校～

10月26日、神奈川県の湘南学園高等学校の生徒42名が、修学旅行で来村しました。

最近の修学旅行は、農林水産業等の体験や地域の方との交流、民泊（一般家庭での生活体験）をコースに取り入れている学校が多くなってきています。

今回の修学旅行では、馬路村で間伐やユズ収穫・曲げわっぱ・ゆず化粧品・森林鉄道乗車などの体験と夕食交流、四万十市ではカヌー体験や民泊を実施しました。

▶ユズ搾り体験の様子

初日には、上治村長の講義があり、馬路村の様子を学習しました。

2日目の日中は天気にも恵まれ、間伐体験では木の倒れる音や迫力に興奮し、「すごい！」との声が聞かれ、間伐した杉の木でコースターを製作するなど初めての「のこぎり」体験に感動していました。

また、ユズ収穫体験ではユズのトゲに悪戦苦闘しながら収穫し、みんなで協力して搾汁機で搾り、家庭へのお土産としました。その他に、釣り体験等も行い、生徒全員が楽しみながら馬路村を堪能していました。

夕方になると、生徒2名ずつに分かれて、村内のご家庭で夕食交流を行い、楽しいひとときを過ごした様子でした。

▲間伐体験の様子

村民との交流により「馬路村」を思い出し、第二の故郷として、将来訪ねてくれることを期待しています。

修学旅行生の受け入れにご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

高知県消防操法大会出場！

10月11日（日）、高知県消防学校（いの町）におきまして、「高知県消防操法大会」が開催され、中芸地区の代表として魚梁瀬分団が「小型ポンプの部」に出場しました。

5月から練習を開始し、消防署員や団員のサポートのもと、また、土日には中芸消防本部の訓練場に出向き、署員から指導を受け細部にわたり操法技術を磨いてきました。

その結果、練習において基準タイム（45秒）をクリアできるようになり、上位入賞が狙えるまでに成長し、大会に挑みました。

当日は県内の地区予選を勝ち上がってきた18チームで争われました。

▲的を目がけて放水する魚梁瀬分団

▲選手団員
指揮者　内原章照
１番員　山﨑和幸　２番員　杷山憲久
３番員　門田拓洋　補助員　井上真共

成績は、タイム50.8秒、総合得点54.8点で15位という結果でした。

一発勝負のプレッシャーからか練習の成果は発揮できませんでしたが、この舞台に立ち大勢の観客の前で操法を披露できたことは何にも代え難い貴重な財産となりました。

また、これまで支えてくださった団関係者、家族や多くのかたがたの協力を得て訓練を続けられたことは、今後の団活動においても大きな力となりました。

ありがとうございました。

Dr.中川の
木の香る診察室から

風が肌寒い季節となってきました。空気も乾燥して風邪をひきやすくなりますので、皆さん暖かい服装をしてしっかり予防していきましょう！

今回は、毎年流行して時には命を落とす危険性のある、インフルエンザについて話したいと思います。

○インフルエンザとは？

インフルエンザウイルスがのどや気管支、肺で感染・増殖することによって発症する病気です。普通の風邪よりも急激に発症し、症状が重いのが特徴で、１～５日の潜伏期間の後、３８℃以上の高熱や筋肉痛などの「全身症状」が現れます。健康な人であれば、その症状が３～７日間続いた後、治癒に向かいます。

しかしインフルエンザウイルスにより気管支炎や肺炎を併発しやすく、脳炎や心不全になる場合もあります。

○どうやって感染するか？

季節性のインフルエンザは、例年１１～１２月ごろに流行が始まり、１～３月にピークを迎えます。

主に感染した人のくしゃみや咳などで出た唾液や鼻水が小さな水滴となって飛び散ったものを吸い込むことで感染（飛沫感染）しますが、そのしぶきが手について目や口から感染（接触感染）する場合もあります。感染したウイルスは、のどや気管支、肺で急激に増殖していきます。感染２日後にはウイルスの増殖はピークに達し、その後減少します。他人へうつす可能性があるのは、発症の前日から症状の軽快後およそ２日後までといわれています。よって、症状が軽快してから２日（幼児は３日）ほどたつまでは通勤や通学は控えましょう。

○インフルエンザにかかったら？

ウイルスの増殖のスピードが速く、症状が急速に進行するため具合が悪くなったら早めに受診し、発症後すぐに適切な治療を開始することが重要ですので、以下のポイントに注意しましょう。

・安静にして休養をとり、特に睡眠を十分にとる。
・お茶やジュース、スープなどでしっかり水分補給をする。
・周囲に感染を広げないため、感染した人はマスクを着用し拡散防止に努める。
・人混みへの外出を控え、無理して学校や職場に行かないようにする。
・ウイルスの空気中での活動や感染を抑えるために、加湿器などで室内の湿度を５０～６０％に保つ。

予防接種・手洗い・うがい・マスク着用でインフルエンザを予防しましょう！

○治療は？

・一般療法…安静にして睡眠を十分にとり、熱による脱水にならないよう水分をしっかり補給することが治療の基本です。
・薬物療法…抗インフルエンザウイルス薬を服用することで、ウイルスの増殖を抑え病気の期間を短くすることができます。しかし、増殖スピードが速く、症状が現れて４８時間以内にウイルスの増殖のピークに達するため、４８時間以内に服用しないと薬の効果が現れにくくなります。そのため、発症後できるだけ早く服用を開始することが重要です。また、高熱の場合には解熱鎮痛剤等、黄色痰等の細菌の二次感染が疑われる場合には抗菌薬を使うこともあります。

○予防は？

・予防接種…流行シーズンを迎える前の１１月ごろに接種をしましょう。効果が現れるのはおよそ２週間後からで、それから約５カ月間持続するといわれています。６５歳以上の高齢者は予防接種によって発症リスクを３４～５４％、死亡リスクを８２％減らせると報告されています。生後６カ月以上から１３歳未満の子どもでは２回接種を行います。
・手洗いやうがい、マスク着用（周囲の人に咳や鼻水でうつさない咳エチケット）をしましょう。

生活体験・通学合宿 in天保の民家

10月12日から14日までの2泊3日で、馬路小学校5・6年生5人が参加して生活体験・通学合宿を行いました。

この体験は、江戸時代に建てられ、現在も保存されている天保の民家で、昔の生活を体験するもので、朝夕の食事作りは自分たちで火をおこしてかまどでご飯を炊くことから始めました。なかなか火がおきず、集めてきた杉しばを使ったり、根気強くうちわで風を送り込むなど苦労していました。地域のおんちゃんから教わって作った竹の食器に、おばちゃんたちと一緒に作ったおかずを盛りつけ、おいしそうに食べる子どもたちの笑顔が印象的でした。

▶2日目の夕食

▶かまどでご飯炊き

◀ナイフで竹の食器作り

便利な現代の生活とは違う体験でしたが、不満を言うこともなく何事にも積極的に取り組む姿に、子どもたちの物事に対する柔軟さを感じました。

子どもたちの感想には、日頃身の回りのことをしてくれる両親に改めて感謝の気持ちをもったこと、みんなとの共同生活が楽しかったことなどが書かれていました。

この合宿での経験を生かして、これからの学校生活の中で、いろいろなことを頑張ってほしいと思います。

ふるさとへの便り 59

馬路村 2015.12

恋しくなる 馬路村

門脇 啓（けい）さん（魚梁瀬出身）

皆さん、こんにちは。

月日がたつのは早いもので中学を卒業し、魚梁瀬を出てもう20年…。

現在は大阪にて旅行代理店のパンフレットやカタログなどの企画制作を行う会社でデザイナーとして働いています。

毎日夜遅くまでの仕事でしんどくなることもありますが、好きな仕事なので楽しく働いています。

大阪で暮らし始めて、もう15年ほどになります。今は奥さんと出会い、結婚をし、8歳の娘ともうすぐ2歳になる息子の二児の父となりました。家族みんな元気に暮らしています。

知り合いや会社の方たちに魚梁瀬のことや同級生は数人しかいないんだということを話すといつもびっくりされます。

▲8歳の娘と2歳の息子と一緒に

ごっくん馬路村やゆずぽん酢を知ってる方も多く、「いつも使ってんねん！」と愛用してくれている方もいて聞くたびうれしい気持ちになります。

毎年、年末には帰省して市内に住んでいる母、魚梁瀬に住んでいる祖母に会いに行きます。都会に住んでいると地元が恋しくなるので毎年帰省するのが本当に楽しみです。

魚梁瀬に帰るとほっとするし、落ち着きます。そしてまた大阪に帰った時のエネルギーになります。そんな所で生まれ育った自分はほんとに幸せだし誇りに思います。

また帰省して見かけたら、声をかけていただけるとうれしいです。

安田川漫歩 (16)

－ あの人 あの情景 を訪ねて －

文・構成　清岡博之
写　真　安岡一成

山の神が棲む 源流域

安田川沿いにひろがる景色に私たちはすっかり親しみ、当たり前のものだと思っています。とはいえ車から一歩降りると、目に映るものがなにかしらちがってきます。そんな情景や人をたずねる安田川漫歩。今回は安田川をさかのぼった源流域です。

相名橋から６ｋｍほど林道をさかのぼった山側に参道がある。石造りの鳥居が参拝者を迎え、ここから先は神域。右柱に昭和八年十一月吉日、左柱に安田川官行自給會惣中と刻む。鳥居を抜けると左ページの祠がある

私たちの祖先ははるか原始の時代からあらゆる自然現象に神の存在を見いだしてきました。人々の生活があるところ、人々の活動があるところには必ず神を祭り、くらしの安寧をはかるよりどころとしたのです。

村人は山地を開墾する歴史をたゆみなくあゆみました。平地がのぞめるような場所を見つけては石を積み、土をならして住居地や耕作地を築きました。集落から遠く離れた山の上にも溝を切り、谷川から水を引き入れ田畑としました。

近代になって鉄路が敷かれ森林資源の開発が本格化すると村人はさらに奥地に向かいます。杣（そま）らに「奥山には木がギイギイ鳴りゆう。あれを切ろったちてこにあうか」と言わしめた原生林を目の当たりにするのです。

上/昭和30年頃長滝川最奥部での伐倒作業講習会のようす（馬路営林署アルバムから）

左/長滝川をまたぐ森林鉄道の橋桁。廃線後50余年を経てすっかり苔むした

右/釜の尻と呼ばれている一帯は大小の岩石が河原を埋め渓谷美をなす

静謐とはこのような場所を表現するためにある言葉なのだろう。安田川事業所跡ちかく須垣谷堂ヶ尾檜立山（すがきだに どうがお ひのきたてやま）山の神祠である。かつて朝日出山や七々川山（なごうやま）など馬路地区の国有林内7箇所の祠で祀っていた山の神を平成22年、ここに合祀した。周囲の山々はすっかり人工林に姿をかえたがこの一画は今も深い森のたたずまいを残し、山の神が降りるにふさわしい空間が整う。静かである

村人は里で鎮守の神をあがめるように、山でも山の神を見いだし、神が降りる祠（＝神を祭る小さなやしろ）を造営しました。未踏の森に分け入り、原生の大木に斧を打ち、大鋸をひき込むのですから神を恐れ、敬うことはごく自然なことでした。国有林野事業では事業所ごとに祠を備えます。昭和30年頃の安田川事業所では60人を超す職員や作業員が暮らし、神も祭りました。

◇ 人が去り 再び神に

「ゆずの収穫期にひと時のにぎわいがあるばかりです」。安田川では最上流の集落、土川に暮らした老夫婦が言います。時が流れて山の神の威厳を象徴した原生林は姿を消し、事業所は撤退し、山を開墾した村人の子孫は集落を下りました。奥山の有りようを再び神の意思に委ねたかのように。

（国有林への立ち入りには許可が必要）

左／安田川水系では5箇所で魚梁瀬ダムへ分水する。栃谷川からの水路は直径80cmの鉄管で谷間を渡す

下／長宗我部地検帳にも記される土川（鎚峨尾村と表記）の集落跡。昭和40年代に最後の住民がここを下り、かつての田畑には杉や柚子が植えられた。それらも近年はシカやサルの食害に悩まされている

お知らせ

「相続登記はお済みですか月間」
高知県司法書士会開催　無料法律相談会

高知県司法書士会では、２月の１カ月間を「相続登記はお済みですか月間」と定め、下記のとおり無料法律相談会を実施します。

相続登記をはじめとして、遺言、遺産分割協議など相続など相続に関する相談に応じ、適切なアドバイスを行います。

○日時：平成28年2月5日(金)
10時～15時

○場所：高知県立県民文化ホール3階　第3多目的室
安芸市総合社会福祉センター　１階相談室
２階小会議室
南国市役所４階　大会議室
須崎市役所総合保健福祉センター2階　会議室1
フジグラン四万十2階　フードコート横イベント広場

○予約：不要

○相談例
・登記名義人が先々代のままです。
・パートナーに全財産を相続させたいのですが…。
・相続人の中に行方不明の人がいて、遺産分割協議ができません。

【お問い合わせ先】
高知県司法書士会
〒780−0928
高知市越前町2丁目6番25号
☎０８８－８２５－３１４３
（FAX）０８８－８２４－６９１９
（E-mail）k.shiho-shoshikai@nifty.com

最低賃金改正のお知らせ

- 高知労働局では、県内すべての労働者に適用される「高知県最低賃金」を改正し、10月18日から施行することとしました。
- この決定により、10月18日以降分として労働者に支払う賃金は、1時間693円以上としなければなりません。

◎最低賃金についてのお問い合わせ先
高知労働局（賃金室）　☎088−885−6024
安芸労働基準監督署　☎0887−35−2128
高知労働基準監督署　☎088−885−6031
須崎労働基準監督署　☎0889−42−1866
四万十労働基準監督署　☎0880−35−3148

職場のトラブルでお悩みの方は「総合労働相談コーナー」へ!

人事労務管理の個別化や雇用形態の変化などに伴い、個々の労働者と事業主との間で、労働関係についての紛争が増加しています。

高知労働局では、こうした個別労働紛争に対する援助サービスを無料で提供し、解決に向けたお手伝いをしています。

職場のトラブルでお困りの方は「総合労働相談コーナー」をご活用ください。

【お問い合わせ先】
- 安芸総合労働相談コーナー（安芸労働基準監督署内）
  ☎0887（35）2128
- 高知労働局総合労働相談コーナー
  ☎088（885）6027
  0120（783）722（フリーダイヤル）
- 高知総合労働相談コーナー（高知労働基準監督署内）
  ☎088（885）6010
- 須崎総合労働相談コーナー（須崎労働基準監督署内）
  ☎0889（42）1866
- 四万十総合労働相談コーナー（四万十労働基準監督署内）
  ☎0880（35）3148

12月・1月 むらの行事予定

12月		
1	火	絵本の読み聞かせ（魚梁瀬保育所） 有害物収集
2	水	乳児健診（田野町保健センター）13:00～
3	木	校内持久走大会（馬路小学校）
4	金	第４４回馬路地区はし拳大会（馬路温泉）
5	土	安芸地区新人球技大会（6日、12日） 馬路熊野神社秋の例大祭・こどもみこし祭り（馬路）
6	日	
7	月	
8	火	リサイクル収集
9	水	餅つき（魚梁瀬保育所） へき地・複式研究発表会（魚梁瀬小・中学校）
10	木	ふれあい餅つき（魚梁瀬小・中学校）
11	金	人権相談所(就業改善センター)10：00～15：00 行政相談所(就業改善センター)10：00～12：00 校内持久走大会（魚梁瀬小・中学校）古紙収集(魚梁瀬)
12	土	馬路まるごと森林の市（高知市森の情報館）10：00～
13	日	
14	月	
15	火	第3回馬路式お弁当の日
16	水	1歳6カ月児健診（田野町保健センター）13:00～
17	木	
18	金	餅つき（馬路保育所）
19	土	
20	日	第43回馬路村文化祭・馬路村ふれあい祭り(馬路中学校・馬路体育館)
21	月	保育所交流会
22	火	リサイクル収集
23	水	東部博クロージングイベント（田野町）　天皇誕生日
24	木	保育所クリスマス会
25	金	終業式（村内４校） ふれあい餅つき（馬路中学校） 古紙収集（馬路）
26	土	
27	日	
28	月	仕事納め 保育終了
29	火	
30	水	
31	木	

1月		
1	金	新春走り初めピッタリタイムレース（魚梁瀬）　元日
2	土	新春走り初めピッタリタイムレース（馬路） 成人式
3	日	
4	月	仕事始め 保育始まり
5	火	有害物収集
6	水	乳児健診（田野町保健センター）13:00～
7	木	
8	金	始業式（村内４校） 古紙収集（魚梁瀬）
9	土	
10	日	消防出初め式（田野町）
11	月	成人の日
12	火	県学力定着状況調査（村内４校） リサイクル収集
13	水	
14	木	
15	金	どんど焼き（魚梁瀬丸山公園）
16	土	第３４回馬路村民駅伝競走大会
17	日	第３５回馬路村内芸能発表会（就業改善センター）
18	月	
19	火	歯科指導（魚梁瀬保育所）
20	水	３歳児健診（田野町保健センター）13:00～
21	木	
22	金	古紙収集（馬路） 歯科指導（馬路保育所）
23	土	スキー教室（久万スキーランド）
24	日	
25	月	
26	火	第4回馬路式お弁当の日 リサイクル収集
27	水	
28	木	
29	金	中芸地区小・中学校連合音楽会 （田野町ふれあいセンター）13:30～15:30
30	土	
31	日	参観日一日先生（馬路小学校）13：45～15：30

人口月中異動	増加				減少				月末現在人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
10月	0	0	0	0	2	1	0	3	941
11月	0	0	0	0	3	0	0	3	938

馬　路　753人、354世帯
魚梁瀬　185人、99世帯
（外国人含む）

馬路村特別村民 9,623人
（11月30日現在）

村内あちらこちら

10月17日　魚梁瀬熊野神社秋の例大祭

10月18日　馬路地区村民運動会

10月27日　認知症学習会（就業改善センター）

11月9～13日　魚梁瀬中学校職場体験学習

11月24日　お魚屋さんの出前料理体験教室（馬路小学校）

村のできごと

10月

4日　第23回山師達人選手権大会（魚梁瀬丸山公園）
9日　東日本大震災から学ぶ馬路村の防災講演会（就業改善センター）
10日　第11回湯けむりピンポン大会（馬路温泉）
12日　生活体験・通学合宿（天保の民家）小学5・6年生（～14日）
14日　第35回魚梁瀬地区はし拳大会（魚梁瀬多目的施設）
16日　魚梁瀬古式弓射式（魚梁瀬熊野神社）
17日　魚梁瀬熊野神社秋の例大祭
18日　馬路地区村民運動会
20日　木管アンサンブルコスモス（木管五重奏コスモスアンサンブル）演奏会（就業改善センター）
21日　馬路村合同学習会
24日　馬路保育所運動会（馬路体育館）
25日　魚梁瀬地区村民運動会
27日　認知症学習会（就業改善センター）
30日　魚梁瀬地区ハロウィーン
秋のリースづくり教室（就業改善センター）
31日　絵手紙教室（就業改善センター）

11月

1日　第10回ゆずはじまる祭
7日　損保ジャパン日本興亜いきいき共生の森
9日　魚梁瀬中学校職場体験学習（～13日）
10日　秋季スカッシュバレーボール大会（魚梁瀬体育館）
12日　千本山登山（魚梁瀬小学校）
16日　ゆずとりボランティア（馬路中学校）
24日　お魚屋さんの出前料理体験教室（馬路小学校）

編集後記

表紙は、「馬路式お弁当の日」です。3年前、表紙を飾った子どもたちが、もうすぐ中学校を卒業する時期が近づいてきました。

「馬路式お弁当の日」を通じて、いのちや生活の大切さなど身をもって学ぶ取り組みが、子どもたちに根づいてきたと思います。

将来、馬路を担う子どもたちが、大人になっても「お弁当の日」を続けてくれることを願っています。

（絢）

編集発行▶馬路村教育委員会
住所　〒781-6201　高知県安芸郡馬路村大字馬路443
TEL　0887−44−2216　FAX 0887−42−1010
E-mail　umaji-v@kochinet.ed.jp
印　刷▶株式会社　高知新聞総合印刷